

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			(11)・年間を通して発達支援センター「えぶりい」と連携し、配慮の必要な子どもの手立てやかかわりについて職員皆で共有し学び合うことができた。 ・5歳児健診受診後より、子どもの成長、発達について保護者との面談や相談に応じる機会を多くもつようにした。(12)・年間を通して、学校教職員や民生児童委員、地域関係者対象の公開保育を通して、幼児期の子どもの姿から小学校で発揮される姿につながる学びの姿について話し合いをもった。年長組保育参加の時間を利用し、クラス懇談会を設け、就学前、就学後の情報を保護者間で話し合った。
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			(1)・年に2回の保育参観(加)やクラス懇談会で園での子どもの様子を見てもらい、成長を確認し合う機会を持つことができた。クラス懇談会では、子どもの年齢の発達、特性における情報交換や日頃の子育ての悩みについて話し合い保護者間で共有し合った。 (3)・階段下のスペースを相談室兼職員の休憩室として使用し、静かな環境で担任と面談が出来ている。 ・今年度、子育て支援室「ぼけっとサン」は園の都合で大領中町の公民館で行っている。週3回行っているが、場所が変わっても平均7組ほどが訪れ親同士・子ども同士が交流し、にぎやかな時間を過ごしている。「ぼけっとサン」から入園につながることも多く、保護者は初めての集団での生活の不安もなくなりスムーズに入園出来る。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				(1)・感染症の流行時には、キッズビューアプリで感染状況や必要な情報を配信し、早急な対応を心がけた。今後、アプリが見れない祖父母の方にもわかりやすいようにホワイトボードに感染状況等を記載して、玄関に掲示するようにする。園児のケガに対しては、状況の説明を的確に行い謝罪を迅速に行い、信頼回復に努めた。また、事故報告書を基に、職員会議等で報告し全職員で共有し再発防止に努めた。 (3)・毎月1回火災・地震・風水害・不審者・雪の避難等想定を替えて行っており、園児にとっては訓練によって防災意識が高められていると感じるが、保護者にとってはどんなことをしているのかがわかりにくいという意見がある。来年度は、避難訓練の様子を写真に撮り、ドキュメンテーションにして玄関に張り出して行くこととする。 (6)・年間を通してキャリアアップ研修を受講し、教育・保育の質の向上に努めた。 (12)・保護者アンケートより、子育てに関して相談できる人がいないという方がおり、保護者支援が不十分だったと感じる。5歳児健診の項目にも保護者が相談できる人についての項目があることを鑑み、保護者支援の大切さを重視しこれまで以上に保護者とのコミュニケーションを増やしていく。 (13)(14)・年に3回自己評価を行っている。自己評価の振り返りをそれぞれのエリアごとに話し合うことで、日頃の保育を振り返ることで自分の不十分とするところがわかり、明日からの保育のやる気につながっている。次年度は午睡時間を有効に活用し保育を振り返る等十分に行いたい。年度末には、上司から職員へ1年の頑張り等を伝えフィードバックを行い次年度に繋げていくようにした。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

—

